驛遞局認可　（定價三錢）
明治十八年五月十九日　火曜日　（西曆一千八百八十五年）
第九百七十二號
日曜日休刊

鎮臺ニ通報ス可シ○第十二條　軍兵及ヒ巡査ノ力之ヲ拿捕スル能ハ之ニ應シ適宜ノ兵員ヲ出スコ管内ニ於テ儀式慶典若クハ變災護ノ爲メ府知事縣令ヨリ兵隊ヲ請フ時ハ事情ヲ斟酌シ之ニ應ズ前二條ニ掲ゲタル事項ハ從事ルト雖ドモ事變ニ由テ往復ノ日限報シテ其區處ヲ受クルヲ正例ト習ノ爲メ三泊以上兵隊ヲ動カスメ所管監軍ノ區處ヲ受ク可シ其ハ之ヲ專行スルコトヲ得○第十戍部署ノ變換增減ニ關スルコト所管監軍ノ區處ヲ受ク可シ其哨所減等ハ之ヲ專行スルヲ得○第十規ニ從ヒ計畫ニ基ツキ名簿ノ點武器彈藥被服陣具糧秣材料ノ運ヲ平時ニ在テ常ニ各主務官ヲ戒團ヲ發シ後備軍ヲ擧クルニ於テ○第十八條　軍管内軍人軍屬ノ犯法ニ照シ軍法會議ニ付シテ處斷ツ近衛ノ兵隊ハ都督ノ前ニ非ザヲ正例トス然レドモ東京外ノ地ノ爲メ觀兵式ノ擧アル二方リテテ之ニ列セシムルコトヲ得○第ノ地方ニ屯在スル時ハ其他地トアリテ火急ヲ要スル時ハ鎮臺ムルコトヲ得○第二十一條　近及ビ豫備役後備軍驅員兵員ノ地官ニ於テ之ヲ管轄スルコト管下トナシ○第二十二條　軍管内ノ官ニ隷屬ス然レドモ特ニ要塞司令ラレタル時ハ其指揮ニ屬スルコ軍管内布置ノ憲兵ハ鎮臺司令官モ之ヲシテ地方ノ事情ニ關スルメ又火急ノ事變ニ際シテハ命令得○第二十四條　鎮臺司令官ト裁判所長トハ互ニ事情ヲ通シ文保ツヲ要ス○第二十五條　鎮臺關スル事件ニ就キ府知事縣令ヨノ權ヲ有ス○第二十六條　鎮臺メテ任ニ赴ク時ハ左ノ禮款特典禮砲五發　第二　儀仗騎兵一中隊一大隊及ビ軍樂隊郊迎　第三市外出迎　第四　臺下ノ諸兵途及ビ同等官正裝伺候○第二十七條任ニ赴ク時鎮臺所在地ノ府知事縣三日以内互ニ訪問シ其軍管内ノ所長トハ三十日以内互ニ移文訪得ヘキ者ヨリ先ンス可シ

司令官ノ本務權限

官ハ一師管ニ關スル事務ヲ擔任護ス故ニ非騷擾鎮壓ノ事ニ關シテナスヲ得但其要塞ハ別命アルニ非限ニアラズ○第二十九條　師管鎮臺司令官ニ報告シ且情狀ヲ探動靜人數ノ多寡等ヲ詳悉シテ逐第三十條　地方ノ騷擾事火急ニシテ縣令ヨリ出兵ヲ請フニ方リ區處ヲヲ得ザル時ハ之ニ應シ時機ヲ量リ之ニ當ラシムルヲ得但其事情ヲ可シ○第三十一條　地方ノ騷擾ニ時ハ鎮臺司令官ニ申報スルノ外直申報シ且比鄰ノ鎮臺營所ニモ亦之第十二條第十三條ノ場合ニ在テハ鎮臺司令官ノ區處ヲ受ク可シ然レドモ事急ニシテ其暇ナキ時ハ管下ノ兵隊ヲシテ其事ニ當ラシメ狀ヲ具シテ鎮臺司令官ニ急報ス可シ○第三十三條　出師ノ準備ハ軍規ニ從ヒ豫算ナキヲ要ス故ニ常ニ人馬召集物品徵發運輸等ノ方法ヲ整ヘ又豫備兵後備兵ニ支給ス可キ武器彈藥被服陣具器具材料等ヲ備ヘ各主務官ヲシテ其貯藏保存ノ事ヲ擔任セシム○第三十四條　師管内ニ在ル下士及ヒ兵員ノ身上ニ係ル事項ニ就テハ地方官ノ通牒ヲ受理シ例規アルモノハ直ニ處分シ其例規ナキモノハ鎮臺司令官ニ具申シテ區處ヲ受ク可シ○第三十五條　營所司令官其師管内ニ在テ第十八條第十九條第二十條第二十三條第二十四條第二十五條ノ場合ニ於テハ各條ニ準據シテ區處ス可シ　（表略ス）

○太政官達第二十二號

内務省　陸軍省　司法省　警視廳　府縣

明治十三年（十月）第五十二號達陸軍檢閲條例中左ノ通改正候條此旨相達候事

明治十八年五月十八日　太政大臣　公爵三條實美

第一條　「監軍部長ヲ」ノ五字ヲ「監軍ヲ檢閲使トシテ」ノ九字ニ改ム

第四條　「檢閲各部ニハ監軍部長一員」ノ十二字ヲ「各部檢閲使ハ監軍一員ヲ以テ之ニ充テ屬員トシテ」ノ二十二字ニ改メ「隨行セシ」ノ下ニ「メ又會計部軍醫部ノ士官各一員監軍部書記三員ヲ隷屬シ檢閲ノ事務ヲ助ケシ」ノ三十四字ヲ加フ

第五條ヲ左ノ如ク改ム

第五條　檢閲副使ハ中少將ノ内一員ヲ以テ之ニ充テ正使ヲ輔佐シ及ビ使務ヲ整理シ又時宜ニ依リ適宜ノ屬員ヲ附シ正使ト分行シテ閲視檢實ノコトニ任スルヲ得

但副使ヲ從クハ事務ノ繁閑ニ從フ

第十二條　但書「電信隊」ノ下ニ「調馬隊」ノ三字ヲ加フ

第十六條　「部長到着」ヲ「檢閲使到着」ニ改ム

第十七條　其二中「委員」ノ下「砲兵隊長」ヲ「砲兵聯隊長」ニ改メ其次ニ「砲兵大隊長」ノ一項ヲ加フ

第二十一條　「各監軍」ノ下「部長」ノ二字ヲ削ル

第二十六條ノ次ニ左ノ一條ヲ加フ

第二十七條　檢閲副使正使ト分行シテ閲視檢實ノコニ任スルトキハ其職權禮遇等總テ正使ト異ナルコトナシ

本例中「馬醫」ヲ總テ「獸醫」ニ「監軍部長」ヲ總テ「檢閲使」ニ改ム

賞勲

○明治十八年四月七日

敍勳三等賜旭日中綬章　歩兵大佐從五位勳四等　川上操六

敍勳四等賜旭日小綬章　歩兵大尉正七位勳五等　棟方武敏

仝　仝仝仝　河村正孝

仝　騎兵少佐從六位勳五等　小川光正

仝　仝仝仝　藤村正彥

仝　砲兵大尉正七位仝　宇野富長

仝　歩兵大尉仝仝　本城幾馬

仝　仝仝仝　松橋宗之

仝　仝仝仝　河北祐充

仝　仝仝仝　竹中安太郎

仝　仝仝仝　三木一存

時事新報

榮譽ナキ事業ハ終ニ興ラズ

政治上ノ尊卑ヲ標準ニシテ全國民ノ分限ヲ包羅セントスル作ハ其包羅中ニ在ル事業ハ最初ヨリ第二流ノ地位ニ下リテ迚モ盛大繁昌ヲ望ム可ラズ、人間社會ハ活物ニシテ秩序紊ルヽガ如クシテ其中ニ自カラ秩序ヲ存スルモノナレバ立國ノ諸元素ヲシテ各其働ヲ逞ウセシメ又隨テ其榮譽ヲ得セシムルノ工風ナカル可ラズトノ大意ハ前號ノ紙上ニ之ヲ開陳シタリ抑モ人情ノ欲スル所錢ト榮譽ト孰レカ先後ト尋レバ錢ハ輕クシテ榮譽ハ重シト云ハザルヲ得ズ兵士ガ千軍萬馬ノ間ニ奮闘シテ死ヲ恐レザルハ何ゾヤ戰勝ノ上ニテ唯賞與ノ錢ヲ得ンガタメニ非ズ勇武ノ功名以テ一世ノ榮譽ヲ博シ芳ヲ萬代ニ遺サンガタメノミ巡査ガ賊ヲ捕ヘントシテ往々疵ヲ蒙リ時トシテ一命ヲモ失フコアルハ固ヨリ其職分トハ申シナガラ強賊ヲ捕縛シテ纔ニ數圓ノ賞金ヲ得ル其金圓ノタメニハ非ズ唯榮譽ヲ重ンズルノ一念ニ[illegible]ト云ハザルヲ得ズ消防ノ人足ガ火ヲ冒シ航海ノ水夫[illegible]暴風ニ働クモ之ヲ説明スレバ兵士巡査ノ危ヲ冒スノ意味ニ異ナラザルモノナラン人生ノ榮譽ヲ重ンズル錢ノ比ニ非ザルヿ以テ知ル可シ左レバ今ヿノ事實ヲ擴メテ日本ノ學問ト殖產トニ就テ論セン歟、今ノ學問ニハ榮譽アルヿナシ學者ガ千辛萬苦シテ書ヲ讀ミ理ヲ講シテ其文明ノ結果ハ國ヲ利スルヿ多キモ世間ニ之ヲ知ルモノナク其勞ハ空シク其名ハ暗クシテ小政談者ノ浮世ニ喋々スルモノニダモ若カズ偶マ學者ニシテ稍ヤ聲望アルモノヲ見レバ我輩ガ會テ云ヘル如ク其聲望ハ其人ノ學識ニ屬スルニ非ズシテ其人ノ政治社會ニ地位ヲ得タルガ爲ノミ即チ日本ノ學問ハ政治ニ對シテ遙ニ下流ニ位スルモノナルガ故ニ迚モ其隆盛ヲ望ム可ラザルナリ榮譽ヲ好ムノ人情ハ古今ニ異ナラズシテ今ノ學者ハ勞シテ世ニ益ナシ其報酬タル榮譽ヲ得ズ苟モ心事脫俗シテ高尙至極ノ地位ニ達シタル大人ニ非ザルヨリ以下ハ誰レカ區々タル學問ノ暗處ニ安ンズル者アランヤ先進後進相率ヒテ第一流ノ政治社會ニ赴カンノミ又殖產ニ從事スルノ勞ハ決シテ容易ナルモノニ非ズ辛苦忍耐ヲ要スルハ無論時トシテハ奇ヲ謀リ危ヲ冒シテ勇進斷行スルヿ軍人ノ戰場ニ於ケルガ如クニシテ幸ニシテ其効ヲ奏シタルモノハ即チ軍人ノ戰勝ニ異ナラズ然ルニ軍人ハ戰ニ勝テ寶物ノ賞典ニ預リ又隨テ無限ノ榮譽ヲ博スルヿナレドモ殖產家ノ戰勝ハ唯錢ヲ得ルノミニシテ八生ニ最モ重ンズル所ノ榮譽ハ錢ニ伴フヲ許サズ試ニ今ノ日本國中ノ農工商ヲ見ヨ祖先以來幾巨萬ノ資產ヲ所有シ又一個ノ働ヲ以テ一代ニ家ヲ興シタル者ニテモ平民ハ則チ平民ニシテ所謂政治社會以上ニ齒スルヲ得ズ一地方ノ富豪錢ヲ以テ能ク其地方ノ禍福ヲ制シ又ハ外國ノ貿易ニ關シテ日本ノ商權ヲ輕重スルヿアルモ政府ノ小吏ニ逢フトキハ公用外ノ交際ニテモ一方ハ官員一方ハ無位無官ニシテ明ニ輕重アルガ如シ在昔封建ノ時節ニ或人ガ士族ノ傲慢ナルヲ咎メテ云ク士族ト平民ト等シク八文錢ヲ投シテ洗湯ニ入リ一方ハ大小刀ヲ棄テ一方ハ矢立前掛ヲ脫シ身外無一物裸体ノ二人相接シテモ士族ノ頭ハ自カラ高ク平民ノ腰ハ自カラ低キガ如シ此弊風ノ存スル間ハ迚モ日本國ノ富强ハ期ス可ラズトテ歎息シタルヿアリ言少シク戲ニ屬スルガ如クナレドモ意味深クシテ殊ニ封建ノ時代既ニ此言ヲ發スルトハ所見高シト云フ可シ蓋シ我輩ガ今ノ日本社會ヲ評シテ尙未タ封建ノ臭味ヲ脫却シ能ハズト云モ其旨ハ三十年前讀人ノ所言ト集點ヲ異ニセズ唯當時ハ門閥ノ士族ト百姓町人ト相對スル權衡ナリシモノガ今ハ士族ニ限ラズシテ政治社會ノ以內ト以外ト相對スルノ事情ニ變シタルノ差アルノミ斯ル事情ニシテ國中ノ農工商家ハ假令ヒ殖產ヲ勵メテ最上ノ地步ニ達スルモ榮譽ノ一段ニ至テハ全ク望ナキモノト覺悟ヲ定ルガ故ニ其心事モ自然ニ萎縮セザルヲ得ズ即チ此流ノ人ガ偶マ錢ヲ得ルモ其用法ハ唯僅ニ肉体ノ小快樂ヲ買フノミニシテ餘念アルヿナク常ニ小成ニ安ンジテ遠大ヲ思ハザル由縁ナリ誠ハ稀ニ殖產家ニシテ榮譽心アル者ト聞キ其榮譽ノ由テ來ル所ヲ尋レバ他ナシ政治社會ノ驥尾ニ附クモノニシテ貴權ノ門ニ出入シ又ハ官ノ金ヲ借用シ又ハ特別ノ保護ヲ蒙ル等ヲ以テ無上ノ榮ト爲シ得々世ニ誇ルモノニ過ギズ沙汰ノ限ト云フ可キノミ

右ノ如ク日本社會ニテハ學問モ殖產モ直接又間接ニ政治ノ包羅中ニ存在シテ地位モ榮譽モナキ小賤至極ノモノナレバ其發達モ亦遲鈍至極ニシテ此マヽニ差置クトキハ今後國ニ大學者モ出テズ大富豪モ興ラズシテ空シク歲月ヲ送ルヿナランカ淋シキ次第ナラズヤ是レモ亦國ノ[illegible]臨テ世[illegible]前事ハ[illegible]學問ナリ殖產ナリ與ニ國力ノ本源ニシテ外ニ對シテ自國ノ体面ノ由テ以テ輕重セラルヽ所ノモノナルニ其本源ナルモノガ内ニ在テ先ツ重キヲ爲スヿヲ得ズ如何ゾカ外ニ向テ爭フヿヲ得ンヤ蓋シ我輩ガ朝野ノ先進識者ニ訴ヘテ何カ工風アランヿヲ冀望スルモ微意ハ唯コノ邊ニ在ルノミ

雜報

○御即位中式　客年來御即位の御本式を執行さるゝ筈世上に其噂ありしが今聞く所に據れば急に本年中に其御中式を行はせらるへしと云ふ

○グラント將軍の近狀　ニューヨーク四月二十六日附の報に將軍は昨夜十一時過よりモルヒチ數滴を服用して眠に就けり終夜安眠する事は能はざりしかども通常人の眠る程れ時間は安眠し翌朝八時頃に目覺たり又ドクトル ドグラス氏の言に依れば二週間前病候の進みし頃に比すれば本日は餘程快氣に赴けり昨夜は咳嗽も平常より少なくて吐痰も殆とあらりし又ドクトル ニユーマン氏も九時頃に將軍に病床に侯せしが此迄になき好機嫌ありと申されたり本日は恰も將軍が六十三回の誕辰なるを以て將軍の一家は將軍の爲めに賀筵を開くれ支度をなし居れり云々されバ此頃まては將軍の病氣も日を逐ふて快方に赴く事なるべし然るに茲に不都合の一事と申すハボストン府の市民は將軍萬一の事ある日にも各々寺々に馳集り鐘を打鳴らして哀悼の意を表せんものとと豫て申合せ置たる事なるが事にも鐘れ音と聞く事なくして再び將軍れ顏色と見るの場合となりたれば市民が折角の心盡しも今は將軍に對して氣の毒の事とあり如何はせんと少しく當惑し居るといふ

○福澤諭吉氏　は家族一同と共に去月下旬以來箱根塔ノ澤温泉に入浴中なりしが去る十六日に歸京せり

○米國前國務卿　フレリンガイセン氏が病氣ある由は曾て記載せしが四月二十日華盛頓發の報と見るに同氏の病氣は次第に重体に赴き食物も思ふやうに用ゐがたく此分にては長く存命は六ヶしかるべしと見ゑたり

○ウオルスレー卿　四月二十日倫敦發の報に埃及出征の英國將軍ウオルスレー卿は次の木曜日（二十三日）にカイロより倫敦に歸着すべしと見ゆ

○京都府知事　北垣同府知事は御用にて本月下旬出京の筈なりと

○歸京　曩に京都府外一府二縣へ出張せる有尾二等主税官は去る十四日、山口福岡長崎佐賀の四縣へ出張せる兒玉工部少書記官は同十六日、森文部省御用掛に隨行し大坂府等に出張せる同省准奏任御用掛青木保氏は同十五日孰れも歸京したり

○出張　兵頭三等主稅官は去十五日千葉縣へ出張仰付られ又長崎縣下紙質製造所へ出張仰付られたる矢吹大藏四等技師は去十六日、福島縣へ出張仰付られたる鹽村大藏權少書記官は一昨十七日孰も出發したり

○兼勤差免さる　屯田兵大尉兼根室縣（根室花咲郡付標津目梨國後得撫新知占守）郡長兼農商務省准奏任御用掛兼勤和田正喬氏は去る十五日同省に於て依願農商務省御用掛兼勤差免候旨仰渡されたり

○裁判長及陪席　判事菅羽安成氏外二名は去る十一日宮城控訴裁判所に於て左の通仰付けられたり

第二期仙臺重罪裁判長ヲ命シ候事　判事　菅羽安成

第二期仙臺重罪裁判陪席ヲ命シ候事（各通）　判事　[illegible]生江　判事　三枝[illegible]人

○歸廳　曩に上京せる根室始審裁判所長判事小野[illegible]は昨十八日出發歸廳す